

JGTO キッズゴルフ
応援プロジェクト

supported by
RICHARD MILLE
RMJAPAN
Foundation

第19回スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会 in 西郷村 大会レポート

【2022年7月17日(日曜日) グランディ那須白河ゴルフクラブ NASU コース(福島県西郷村)】



- ◇ 新型コロナウイルスの影響により 2020 年は中止となったが、2021 年より東日本エリアと西日本エリアに分割して復活。今年 2022 年も同じ方式で継続開催。北海道から静岡県までの 23 校 118 名がエントリーし、選手・引率・応援・ボランティア等を含めた総勢約 420 名が来場。
- ◇ 都道府県予選会は 14 地区で計画され、うち 3 地区が普及途上のため参加者少数で見送り。
- ◇ 出演プロゴルファー及び運営スタッフは抗原検査での陰性を確認し、参加選手及び引率者は健康観察と健康チェックシートの提出により、万全な感染症対策を講じて開催。
https://drive.google.com/file/d/1pkSV4X9dgiJxnRfjbgm-q59Hyxb_0qQn/view
- ◇ 感染症が全国的に再拡大の状況だったが、「スポーツ庁からの通達により運動時は熱中症対策としてマスクの着用は必要ないが、プレー中のマスクの着用については各学校各保護者の指導に従う」という取り決めのもと、出演プロゴルファーはプレー中とステージ上など、濃厚接触とならない場面でマスクを外して出演。
- ◇ 不安定な天気予報の中、時折日差しが届き、雨に降られることもなく、無事に開催できた。





- ◇ ジャパンゴルフツアー選手会の協力により、宮里優作プロ、増田伸洋プロ、塩見好輝プロ、伊藤有志プロ、寺岡颯太プロ、山路幹プロ、松本将汰プロが、JGTO ドリームチームとして参戦。子どもたちと、同じクラブ、同じボール、同じ距離でガチンコ対決を受けて立った。
- ◇ キャプテンは2年連続2回目の宮里優作プロ、最年長で2年連続3回目の増田伸洋プロは「監督」という新しい役割でJGTOドリームチームをまとめ、大会を盛り上げた。



- ◇ 大会運営は、地元・西郷村内5校の、スナッグゴルフ練習や活動をサポートする、西の郷スポーツクラブが運営ボランティア約70名を招集し、コース設営、受付や選手輸送、スコアラール業務、カレーライス提供、キッズキャディなど、様々な業務に携わり運営を支えた。
- ◇ 2016年から福島県西郷村で全国大会を開催したことと連動して、西郷村ではスナッグゴルフからゴルフへステップアップする仕組みも構築されており、ボランティアの中にはスナッグゴルフOB・OGの中学生・高校生のゴルフ部員と、その保護者の方々も多数協力してくれた。



- ◇ 選手宣誓は、前回大会の優勝校・茨城県・常陸大宮市立大宮小学校を代表して、坂井優空さん、木村彩詠さん、大賀ひよりさんの3名が、厳粛なムードの中、元気よく宣誓した。
- ◇ 開会式では、西郷村・高橋廣志村長から、「ようこそ西郷村へ！」と歓迎の挨拶が行われた。



- ◇ 開会式では「決めポーズ！」で入場し、プロゴルファーとキッズキャディもポーズを決めた。



◇ 選手たちは全国大会に相応しい、華麗なるプレーぶりで、将来のプロゴルファーそのもの。





◇ JGTO ドリームチームのプロの皆さんは、パワーと迫力を目の前で披露し、プレー中もプレー外でも、子どもたちとの交流を自ら図り、選手たちの期待に応えるファンサービスに徹した。





◇ 成績集計の合間には、選手と JGTO ドリームチームによる、レクリエーション対決として、ロープぐりゲームや、ピンポン球スプーン運びゲームなどで、わちゃわちゃ盛り上がった。



- ◇ 優勝は、茨城県・笠間市立友部小学校(79 ストローク)で、2016 年以來 6 年ぶり 3 勝目を飾った。
- ◇ 1 打差の 2 位は同じ茨城県の笠間市立北川根小学校、更に 1 打差の 3 位も茨城県の常陸大宮市立大宮小学校で、大宮小学校の連覇はならなかった。
- ◇ JGTO ドリームチームは 73 ストロークでプロの威厳を見せつけた。この結果、11 戦 7 勝 3 敗 1 分けと、勝ち星を積み重ねた。





- ◇ ベストスコア賞は、赤コースが常陸大宮市立大宮小学校 6年・木村彩詠さん 24 ストローク、青コースが多古町立久賀小学校 6年・平田愛実さん 25 ストローク。
- ◇ JGTO ドリームチームのベストスコア賞は、2年連続3回目の出場となった増田伸洋プロが 23 ストロークで出場全選手でのベストを記録し、高々と拳を点に突き上げて喜んだ。



- ◇ 優勝スピーチでは、キャプテンの橋本琉偉くんが、指導者や保護者、練習場所を提供して頂いている方々への感謝の気持ちを伝えた。



◇ 大会の締めくくりとなる代表児童の挨拶は、震災復興枠より出場の、岩手県・宮古市立宮古小学校 5年・渡邊征一郎くんが務めた。

『今日は、僕たちの、スナッグゴルフ大会のために、たくさんの方々に応援して頂き、ありがとうございました。僕たちの住む、岩手県宮古市では、東日本大震災からの復興を願って、日本ゴルフツアー機構から、スナッグゴルフがプレゼントされました。現在では宮古市長杯スナッグゴルフ大会が毎年開催されていて、これをきっかけに全国大会に出場することが出来、沢山のゴルフのお友達と出会うことができました。僕たちの活動を支えてくれている皆さん、この大会を応援してくれている皆さん、今日は本当にありがとうございました。』



◇ 表彰式終了後は、出場 23 校が JGTO ドリームチームと、それぞれ記念撮影、全国大会の思い出を写真に収めた。





- ◇ スタート後には、来賓及び関係団体による「アフタヌーンティ」を開催し、これまでの20年間のキッズゴルフ普及事業に関する振り返りや、現在の全国での取り組みや活動の状況、今後の課題や展望などについて、意見交換を行った。



- ◇ 恒例のアトラクションでは、パイナップルを片手に、予測不能な演出で会場を沸かせた。
- ◇ 『JGTO キッズゴルフ応援プロジェクト supported by リシャールミルジャパン基金』第19回スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会 in 三木市は、10月29日(土曜日)に兵庫県三木市の三木ゴルフ倶楽部で開催される。
- ◇ 全国大会の様子は、YouTubeにて、12月下旬に放送予定。

●JGTO オフィシャルホームページ掲載記事

努力の結晶！笠間市立友部小学校が頂点に立った

<https://www.jgto.org/kids/30190>



7月17日（日）、福島県の[グランディ那須白河ゴルフクラブ（NASU コース）](#)を舞台に、『[JGTO キッズゴルフ応援プロジェクト supported by リシャルミルジャパン基金](#)』第19回『[スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ 全国大会 in 西郷村](#)』が開催された。

昨年と同じく新型コロナウイルスの感染拡大予防の観点から東日本大会、[西日本大会（10/29 兵庫県三木市）](#)の2回に区分して行われ、今回は[東日本 11 地区で行われた都道府県予選を勝ち抜いた 23 校 118 名の子どもたちによって熱戦が繰り広げられた](#)。競技は9ホール（507ヤード・パー36）で行われ、各チームの上位3人の合計スコアで競われる。熱戦を制して優勝したのは笠間市立友部小学校（茨城県）。成績は79ストロークで23校の頂点に立った。

笠間市立友部小学校は全国トップレベルの実力ながら、今年に入り市長杯で3位、今大会の予選会でも2位と悔しい思いをしてきた。そこでなんとしてでも全国大会での優勝をという強い思いがあった。学校、親御さんのご理解、ご協力のもと、土日は毎朝7時から練習を積み重ねてきた。友部小学校の優勝は、2016年以來6年ぶり3勝目。[BMW 日本ゴルフツアー選手権森ビルカップ](#) & [宍戸ヒルズカントリークラブ](#) & [笠間市](#) & 日本ゴルフツアー機構によるキッズゴルフの取り組みによる普及小学校である。

「今回優勝することができたのはコーチのおかげや保護者の方、先生方の協力があったのもので本当に感謝しています。ありがとうございました」と優勝の弁を述べた。

なお2位には80ストロークで笠間市立北川根小学校（茨城県）が入り、昨年優勝の常陸大宮市立大宮小学校（茨城県）は81ストロークで3位で大会を終えた。

大会当日の天気予報は雨も予測されていたが、奇跡的に表彰式を終えるまで降られることはなく無事大会は終了した。子どもたちの熱気が雨雲を寄せ付けなかったのだろう。日々の鍛錬の成果を子ども達がそれぞれ発揮してくれた。そのプレーぶりは真剣そのもので、その眼差しは既にアスリートだった。スナッグゴルフをきっかけに、今後ゴルフへとステップを進める子ども達もいるだろうが、より一層スナッグゴルフが普及していくことを期待したい。

優勝 笠間市立友部小学校 79 ストローク 2位 笠間市立北川根小学校 80
3位 常陸大宮市立大宮小学校 81 4位 多古市立久賀小学校 82 5位 西郷村立小田倉小学校 83

今年も JGTO ドリームチームが結成！貫禄のプレーを披露

<https://www.jgto.org/kids/30191>



今年も JGTO ドリームチームが結成された。キャプテンは昨年に引き続き宮里優作。今年のメンバーは最年長であり最多出場となる増田伸洋を筆頭に塩見好輝、伊藤有志、寺岡颯太、山路 幹、松本将汰の7名で構成。伊藤、寺岡、山路、松本の4人は初スナッグゴルフというフレッシュな面々だ。

注目のスコアは73ストロークでプロとしての貫禄を見せつけた。特に最年長の増田はチームトップの23ストロークをマークするなどチームを牽引した。

キャプテンの宮里は「今年も子ども達に元気をもらいました。スナッグゴルフ特有の打ち方を子ども達のプレーから見て学んだりして、楽しくプレーさせてもらいました。今年は個人的にはトップを狙っていたんですけどね。（笑）」と充実した時間を過ごせたことに満足気だった。

また最小ストロークをマークした増田は「子ども達はうますぎるでしょ。自分も結構頑張ったと思いますが、ちょっと油断するとすぐに負けちゃいますからね。（笑）楽しい1日でした」と年々レベルアップするスナッグゴルフのレベルに驚いていた。

久々の出場だった塩見は31ストロークと不本意な成績に終わったが。「初めてやったときの方が上手かったですね。難しかったです。（笑）チームの足を引っ張っちゃいました」。

また、初スナッグゴルフを体感した伊藤、寺岡、山路、松本の4人もスナッグゴルフの難しさ、楽しさを体感しながら、それ以上に感心していたのが子ども達の真剣なプレーぶりだったと言う。1打1打真剣にアライメントする姿などを見て、初心を思い出す経験になったのではないだろうか。

次回はどのようなドリームチームが結成されるのだろうか。注目したい。

『JGTO キッズゴルフ応援プロジェクト supported by リシャールミルジャパン基金』
第 19 回スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会 in 西郷村

グランディ那須白河ゴルフクラブ NASU コース 9ホール 507 ヤード パー36

- 優勝 笠間市立友部小学校(茨城県) 79 ストローク
- 2 位 笠間市立北川根小学校(茨城県) 80
- 3 位 常陸大宮市立大宮小学校(茨城県) 81
- 4 位 多古市立久賀小学校(千葉県) 82
- 5 位 西郷村立小田倉小学校(福島県) 83
- 6 位 多古町立多古第一小学校(千葉県) 84
- 7 位 笠間市立岩間第三小学校(茨城県) 84
- 8 位 西郷村立川谷小学校(福島県) 85
- 9 位 笠間市立穴戸小学校(茨城県) 86
- 10 位 常陸大宮市立緒川小学校(茨城県) 95
- 11 位 西郷村立熊倉小学校(福島県) 100
- 12 位 常陸大宮市立山方南小学校(茨城県) 104
- 13 位 印西市立西の原小学校(千葉県) 104
- 14 位 仙台市立生出小学校(宮城県) 105
- 15 位 阿見町立阿見第二小学校(茨城県) 107
- 16 位 千歳市小学校選抜(北海道) 107
- 17 位 大崎市立鬼首小学校(宮城県) 108
- 18 位 つくばみらい市立福岡小学校(茨城県) 110
- 19 位 宮城県小学生選抜(宮城県) 111
- 20 位 御殿場市立富士岡小学校(静岡県) 114
- 21 位 女川町・石巻市小学生選抜(宮城県) 116
- 22 位 つくばみらい市立小絹小学校(茨城県) 126
- 23 位 宮古市立宮古小学校(岩手県) 156

★JGTO ドリームチーム 73 <11 戦 7 勝 3 敗 1 分け>

※同ストロークの場合はスコアの少ない選手がいる学校が上位となる

●ベストスコア賞

赤コース 24 ストローク 12 アンダー

木村彩詠(常陸大宮市立大宮小学校 6 年)

青コース 25 ストローク 11 アンダー

平田愛実(多古町立久賀小学校 6 年)

★JGTO ドリームチーム 増田伸洋 23 ストローク 13 アンダー

●アルバトロス賞

4 番ホール 79 ヤード 仲田杏(笠間市立友部小学校 6 年生)

●ホールインワン賞

2 番ホール 20 ヤード 小野寺悠希(笠間市立穴戸小学校 5 年生)

5 番ホール 23 ヤード 平田愛実(多古町立久賀小学校 6 年生)

5 番ホール 23 ヤード 富樫瑠夏(千歳市小学校選抜・北陽小学校 2 年生)

7 番ホール 17 ヤード 山倉茉南(多古町立多古第一小学校 5 年生)

●製作物・掲出物・ご提供商品



<ご提供ありがとうございました!!!>

- 株式会社TSI: ジャックバニー・キャップ
- ハウス食品: 「カレー屋カレー甘口」
- JA 福島中央会: 炊飯米・会津産コシヒカリ 400 人分、福島県産モモ「日川白鵬(ひかわはくほう)」1箱6~8 個入りを全校分、JA グループの食と農をすすめる子ども雑誌「ちゃぐりん」
- 西郷村: 村のマスコットキャラクター・ニシゴーンのクッキーなどグッズ各種
- 福島民報社: ノートとボールペン
- 住友ゴム工業株式会社: ゴルフ用グローブ全員分

●掲載記事



【公益財団法人ベルマーク教育助成財団】
公式ホームページ



<https://www.bellmark.or.jp/>

☆公式サイト内のベルマーク新聞 8月号(3ページ)に掲載して頂きました。

[2506.pdf \(bellmark.or.jp\)](#)

【福島民報 2022年7月18日・朝刊】

福 島 民 報 2022年(令和4年)7月18日(月曜日)



優勝を目指し、懸命なプレーを見せる選手

小田倉小(西郷)5位

スナッグ
ゴルフ JGTO杯全国大会

1ル少年団が県大会出場を決めた。県大会は8月6、7の両日、会津若松市の会津総合運動公園多目的広場で開かれる。

第19回スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会は17日、西郷村のグランディ那須白河ゴルフクラブNASUコースで開かれ、小田倉小が県勢最高の5位となった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年からは東日本と西日本で分けて開催している。川谷

小田倉、熊倉の各小を含む児童計115人が出場した。各校3〜6人のチームで9ホールをプレーし、上位3人の合計スコアで競った。宮里優作ら7人のプロが児童と一緒にラウンドし、トップレベルの技術を披露した。

◇順位①友部小(茨城)

79②北川根小(同)③大宮小(同)④小田倉小(西郷村)⑤川谷小(同)⑥熊倉小(同)
◇ベストスコア賞▽赤石一三(青コース)▽平田愛実(千葉・久賀小)

JA福島中央会 県産食材を提供

児童や引率の保護者らの昼食として振る舞われたカレーライスに、JA福島中央会が会津産コシヒカリを提供した。児童は競技前においしそうにカレーライスを食べた。お土産として各チームに1箱ずつ県産モモが贈られた。

16チーム熱戦

U12バスケットボールサマーカップ

小学生の第2回県U12バスケットボールサマーカップ選手権大会は17日、郡山市西部体育館などで始まった。17、23、

JGTOキッズゴルフ応援プロジェクト



リシャールミルジャパン基金

特別協賛

TSI Inc. 株式会社TSI



ディライトワークス株式会社

助 成



公益財団法人 ジュニアゴルファー育成財団

協賛・寄付

※五十音順

栄和リサイクル株式会社／株式会社キヌガワプランニングオフィス
株式会社コーベヤ(稲田三郎)／秀明印刷株式会社／JA福島中央会
スナッグゴルフジャパン／株式会社スポーツITソリューション
住友ゴム工業株式会社／総合リゾートライフ株式会社／大和リース株式会社
有限会社高橋啓之設計事務所／株式会社テクノクラフト
東洋建設工業株式会社／弁護士 中野辰久(東京弁護士会)
日本スナッグゴルフ協会／西郷村／ハウス食品株式会社
医療法人ひまわりこどもクリニック／株式会社プラグインプロダクツ
株式会社フレンド企画／富士産業株式会社／株式会社プレジャー
ポエック株式会社／松永カントリークラブ／ブライシス株式会社

支援プロゴルファー

青藤池宮小塩小時金大寺	木田里平見鯛松谷岩岡	寛勇優 好竜隆拓龍颯	功之太作 智輝也 光実一太	中宮石浅塚竹出水星石清山	嶋本川地田谷野坂水路	常勝 洋陽佳大二郎 陸友大	幸昌遠佑亮孝也宏成幹	倉谷川重稲永比大 小齊藤	本原村永森野嘉槻平藤	昌秀昌 亜斗 佐竜一 智優有	弘人弘夢 貴太郎 貴春和志	谷小上増岩額木片桂松	口田井田田賀下岡川本	孔邦伸 辰稜尚有将	徹明裕洋寛徳介之人汰
-------------	------------	------------	---------------	--------------	------------	---------------	------------	--------------	------------	----------------	---------------	------------	------------	-----------	------------

第19回スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会in西郷村の開催にあたりご支援を頂き厚く御礼申し上げます。